



# News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA, 1-12-3 KANDA NISHIKI-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 464号

2013. 7. 1 8  
毎月1回発行

発行責任者  
岸田 義典

## 目次

# 2013

- 中国の農業事情を視察して ..... 2  
生研センター 水上智道氏
- 国別輸出入 (2013年4月) ..... 7
- WORLD NEWS ..... 12
- EVENTS CALENDER ..... 14

# 6月号

# 中国の農業事情を視察して

生物系特定産業技術支援センター (生研センター)  
生産システム研究部 生育管理システム研究  
水上 智道 氏

国際農業機械化研究会は、(株)新農林社と共催で、第 464 回海外農機事情報告会を平成 25 年 6 月 27 日 (木) に開催した。講師は、生研センター水上智道氏。水上氏は、2012 年 9 月 15 日から 24 日にかけて国際学会への参加に併せて、北京・西安を視察。その概要を映像と共に報告した。

要旨は以下の通りである。

2012 年 9 月に中国北京市内で農業に関する国際学会がありました。その学会の参加に併せ、西安で大学の先生をしている私の大学の友人をつてに中国の北京と西安で農業事情を視察してきましたので、報告させていただきます。

ちょうど尖閣諸島問題から発展し日本に対する暴動が盛んなときで、日本人に対して大変厳しい時期でした。この車の写真には、ちょっと不自然な箇所があります。間違い探しのようですが、日産車ですが、日産のロゴではなく、星のマークがついています。日本車というのを隠して走っているのです。また、中国の生研センターのようなところと打合せをする約束をしていたのですが、このような状況のため、直前に取りやめになりました。内容が乏しいかもしれませんが、見てきた範囲でお話させていただければと思います。

今回の動向を簡単に説明すると、最初に国際学会へ参加し、次に北京の市場視察、植物工場を見学しました。その後に西安に移動し、大学で、私の研究分野であるドリフトの説明等をしてきました。そし

てここでも、西安の市場を見学しました。また、西安から 200km くらい離れた楊凌という所に、中国が国を挙げて農業分野に特化した国際的な農業用団地を作っている地区があります。日本の工業団地のようなもので、中国が国策として勧めている特化地区です。各国から様々な企業が入っています。そこを見学してきました。

## 北京新発地農産品市場

北京市内にある大きな農産物市場「北京新発地農産品市場」です。農産物がどういうふう集まり、どういうふう販売しているのか、現場を見てきました。この市場では、様々なセクションがありました。セクションというのは品目や作物毎にわかれている場所です。主にニンニクや生姜を売っているセクションを訪問しました。隣のセクションでは、他の作物を取引しています。農家が北京近郊から、自分で車を運転して野菜を運び、そのままトラックで直接販売というのが現状だそうです。トラック一台、全てニンニクです。その隣も、またその隣もニンニ

図1 北京市内にある農産物市場



図2 ニンニクを売るトラック

